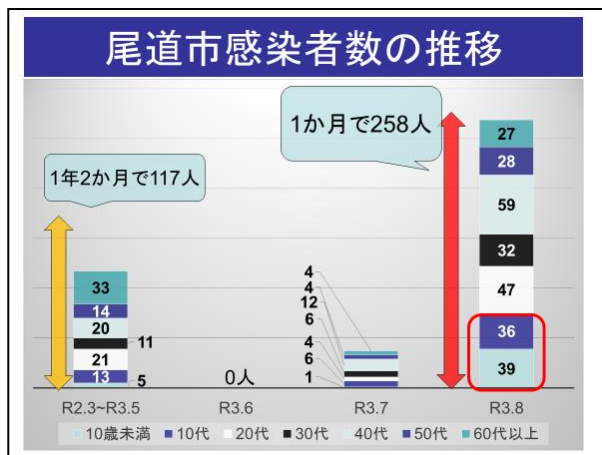


# ほけんだより

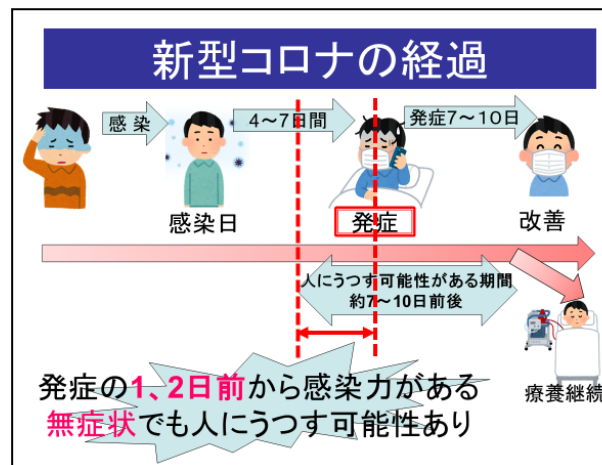
9月号  
尾道市立高西中学校  
令和3年9月7日

2学期がスタートしました。コロナ禍の中、緊急事態宣言下で始まった2学期です。12歳以上のみなさんへのワクチン接種が少しずつ進んでいるものの、まだまだ安心できる状況ではありません。引き続き、これまでの感染対策を徹底する、やりきることが大切です。尾道では感染拡大が続いています。私たちの注意を喚起するために、尾道市長の平谷祐宏さん、広島県東部保健所長 福田光さんが緊急メッセージを出されました。市のホームページやLINEですでに読んだ人もおられるかもしれません。現状を正しく知って、予防に対する自分の意識を高め、自分の行動を変えましょう。誰かが防いでくれるのではなく、まずは自分で自分の命を守る行動を取ることが大切です。

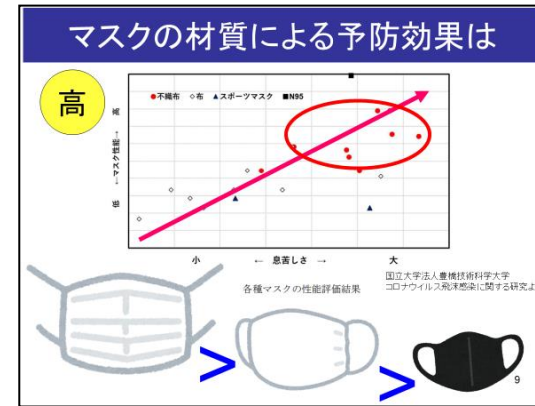
## 新型コロナの感染拡大(第5波)を収束させよう!



- 8月の感染者は1ヶ月で258人。
- 10歳未満や10代の感染者が増加↑
- 学校が始まったので、さらに10歳未満、10代の感染者が増える可能性。
- 家族内感染が増加。
- コロナは経過が長く、7~10日間は人にうつす可能性。



- 発症の1~2日前から感染力がある。
  - 無症状のままの人もある。
- 気づかないうちに感染する・感染させてしまう病気。だから、ウイルスの飛散と吸い込みを防ぐことが予防の鉄則。そのため、3密回避・換気・マスク!!



- 換気が大切、マスクも大切。
- マスクの効果は 不織布>布>ウレタンの順。自分のマスクの材質を見直してみましょう。
- マスクを外しての会話は控えましょう。

子供は重症化しないからって...

子供の致死率は0.001-0.02%前後。重症化もほとんどしない。でも、子供から家族に感染することもある。

世界ではこの1年間で113万人の子供達が家族内感染により保護者を失っています。

極めて感染リスクが高いこの病気、子供達から家族に広がることで結果的にコントロールが出来なくなり、不幸な子供達が増えてしまいます。

Lancet 2021; 398: 391-402

子供はあまり重症化しないと言われていますが、39℃近い熱が出たり、37℃台の微熱と頭痛やだるさが何日も続いたりする人もいます。私たちは「軽症」を軽く考えていないでしょうか。そして...

子供から家族へ感染した場合のリスクを考えましょう。

※コロナ制圧タスクフォース武藤義和先生の講話(8.24)より

「私は重症化しないかもしれないけれど、私からおじいさん、おばあさん、お父さんやお母さんに感染したら、重症化するかもしれない。」

「感染して宿泊療養になったら自分一人で寝泊まりして療養するのかな。」

「お父さんやお母さんが入院したり、宿泊療養になったら、生活はどうなるのだろう。」

「療養中は体も心もつらくて、とても不安だろうな。」

やっぱり想像力を持って欲しい。

どうせ悲くならないし、かかってもいいよね。遊びに行きたいってばよ!

でも自分がかかったら一緒に住んでるおじいちゃんにうつしてもしかた5重症になって死んじゃうかも。。。

※コロナ制圧タスクフォース武藤義和先生の講話(8.24)より

など、想像力を持ち「自分のこととして考える」ことが私たちにできているでしょうか。実際に世界ではこの1年間で113万人の子供達がコロナによって両親を失っているそうです。自分が感染したら、家族が感染したらどうなるのか。あるいは、この行いはどういう結果につながるのだろうか、常に想像力を持って生活することが自

ずと感染対策につながるのではないのでしょうか。